

## 目 次

### ・委託業務成果報告（総括）

#### インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究 ----- 1

岡部信彦

- （資料） インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究に対する協力について  
（平成 26 年 11 月 7 日付け 健感発 1107 第 1 号・薬食安発 1107 第 1 号  
厚生労働省健康局結核感染症課長・医薬食品局安全対策課長依頼）  
インフルエンザに伴う異常な行動に関する調査のお願い  
〔インフルエンザ定点以外の医療機関用〕  
〔インフルエンザ定点医療機関用〕

### ・委託業務成果報告（分担）

#### 1. 2013/2014 シーズンにおけるインフルエンザ様疾患罹患時の異常行動（重度）に関する研究 ----- 17

岡部信彦、宮崎千明、桃井真里子、谷口清州、大日康史、菅原民枝

- （資料） 図 1. 異常行動（重度）の発熱週と発生動向調査  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 2. 患者の年齢  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 3. 患者の性別  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 表 1. 2013/2014 シーズンの全ての重度の異常行動の発現における性差  
（A）5 歳未満と 5 歳以上 10 歳未満における性差  
（B）6 歳未満と 6 歳以上 10 歳未満における性差
- 表 2. 発熱から異常行動発現までの日数
- 図 4. 最高体温  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 5. インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 6. 迅速診断キットによる結果  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 7. 異常行動と睡眠の関係  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 8. 服用した薬の組み合わせ  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 9. 薬の服用の有無  
[ 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 10. 異常行動の分類（複数回答）  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 11. 患者の年齢（対象：突然走り出す・飛び降りのみ限定）  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010

- 2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 12 . 患者の性別 (対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ)に限定)  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 表 3 . 2013/2014 シーズンの最も重度な異常行動の発現における性差  
(A) 5 歳未満と 5 歳以上 10 歳未満における性差  
(B) 6 歳未満と 6 歳以上 10 歳未満における性差
- 図 13 . 最高体温 (対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ)に限定)  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 14 . インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無  
(対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ)に限定)  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 15 . 迅速診断キットによる検査結果  
(対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ)に限定)  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 16 . 服用した薬の組み合わせ  
(対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ)に限定)  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 17 . 薬の服用の有無 (対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ)に限定)  
[ 2012/2013 2013/2014 ]
- 図 18 . 異常行動と睡眠の関係  
(対象 : 突然走り出す・飛び降りのみ)に限定)  
[ 2006/2007 2007/2008 2008/2009 2009/2010  
2010/2011 2011/2012 2012/2013 2013/2014 ]

## 2 . 2013/2014 シーズンにおけるインフルエンザ様疾患罹患時の異常行動 (軽度) に関する研究 ----- 41

- 岡部信彦、宮崎千明、桃井真里子、谷口清州、大日康史、菅原民枝  
(資料) 図 1 . 異常行動 (軽度) の発熱週と発生動向調査 [ 2013/2014 ]  
図 2 . 患者の年齢 [ 2013/2014 ]  
図 3 . 患者の性別 [ 2013/2014 ]  
表 1 . 2013/2014 シーズンの全ての軽度の異常行動の発現における性差  
(A) 5 歳未満と 5 歳以上 10 歳未満における性差  
(B) 6 歳未満と 6 歳以上 10 歳未満における性差  
図 4 . 最高体温 [ 2013/2014 ]  
図 5 . インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無 [ 2013/2014 ]  
図 6 . 迅速診断キットによる結果 [ 2013/2014 ]  
図 7 . 異常行動と睡眠の関係 [ 2013/2014 ]  
図 8 . 服用した薬の組み合わせ [ 2013/2014 ]  
図 9 . 異常行動の分類 (複数回答) [ 2013/2014 ]

## 3 . 薬局サーベイランスにおける推定患者数を用いたノイラミニダーゼ阻害剤毎の異常行動の発症率に関する研究 ----- 53

- 岡部信彦、宮崎千明、桃井真里子、谷口清州  
研究協力者 : 亀井美和子、川野原弘和、中村裕樹  
(資料) 表 1 . 薬局サーベイランスによるノイラミニダーゼ阻害剤毎の推定患者数  
表 2 . 異常行動の症例数と発症率

- (A) 最も重度な異常行動
- (B) 全ての重度な異常行動
- 表 3. 薬剤間の分散分析の結果 (確率値)
  - (A) 最も重度な異常行動
  - (B) 全ての重度な異常行動
- 表 4. 薬剤間の厳密検定の結果 (確率値)
  - (A) 最も重度な異常行動
    - (A-1) 0-9 歳 (A-2) 10-19 歳 (A-3) 0-19 歳
  - (B) 全ての重度な異常行動
    - (B-1) 0-9 歳 (B-2) 10-19 歳 (B-3) 0-19 歳

**4. 服用したノイラミニダーゼ阻害剤毎の異常行動の発症率に関する研究** ----- 61

岡部信彦、宮崎千明、桃井真里子、谷口清州、大日康史、菅原民枝

(資料) 表 1. 安全対策調査会が調査・公開した、シーズン毎の抗インフルエンザウイルス薬を処方された 10 代の推定患者数

表 2. 異常行動の症例数と発症率

- (A) 最も重度な異常行動
- (B) 全ての重度な異常行動

表 3. (i) 2010/2011 から 2013/2014 シーズンにおける薬剤間の厳密検定及び分散分析の結果 (確率値)

- (A) 最も重度な異常行動
- (B) 全ての重度な異常行動

表 4. (ii) 2006/2007 から 2013/2014 シーズン及び (iii) 2007/2008 から 2013/2014 シーズンにおけるオセルタミビルとザナミビルの間の厳密検定の結果 (確率値)

- (A) 最も重度な異常行動
- (B) 全ての重度な異常行動

**学会等発表実績**

-----

**研究成果の刊行物・別冊**

-----